



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no.43

太田地域の斉内地区で精密ばねの製造を行っているのが、小松ばね工業株式会社秋田太田町工場(本社:東京都)です。

同社は、1941(昭和16)年、東京都に創業し、1989(平成元)年に県の誘致工場として旧太田町に立地しました。精密ばねの専門メーカーとして、確かな品質管理と対応力を武器に著実に発展しています。

同工場の精密ばねは、カメラなどの光学機器、内視鏡用やガイドワイヤーなどの医療機器、スマートフォンなどの小型通信機器の各部品と、さまざまな精密機器に使用されています。



ミクロ技術の大きな役割

小松ばね工業株式会社

秋田太田町工場[太田]

製造品目/精密ばね

従業員数/28人

※今回の案内人は工場長の渡辺和知さん

密ばね製造は、すべて受注生産で顧客の多彩なニーズに対応し、現在、線径0.02ミリ(人の髪が0.08ミリ)の線材をばねに加工し、さらに難しい技術へ挑戦しています。

2006(平成18)年には、経済産業省の「第1回元気なモノ作り中小企業300社」に選ばれるなど、その技術力は国内外で高く評価されています。

「品質は工程でつくりこむ」創業以来の思想を受け継ぐ同工場。精密で正確な製品づくりや新製品の開発に取り組む姿勢は、これからも変わらず、社員一丸で取り組んでいきます。